

## 温室効果ガス削減実施状況報告書

### 1 事業の概要

#### (1) 事業所の名称

鹿川ターミナル株式会社

#### (2) 事業所の所在地

広島県江田島市能美町鹿川31-5

#### (3) 業種

倉庫業 4711

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成20（2008）年度を基準年度とし、令和2（2020）年度から令和6（2024）年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成20年度 (2008)	令和6年度 (2025)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガスみなし排出量							
実績に対する自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

タンク放熱面積 (㎡)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成20年度 (2008)	令和6年度 (2024)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	18.89	13.67 (27.6)	9.94 47.4	10.96 42.0	11.60 38.6	12.81 32.2	100.0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素	0.0013	0.00094 (27.7)	0.00067 48.5	0.00075 42.3	0.00078 40.0	0.00070 46.2	100.0
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス排出量総計	18.89	13.67 (27.6)	9.94 47.4	10.96 42.0	11.60 38.6	12.81 32.2	100.0
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)	6.81	4.93 (27.6)	3.63 46.7	4.04 40.7	4.28 37.2	4.51 33.8	100.0
実績に対する自己評価	近年、タンク休止等で原単位算定に用いている指標 (タンク放熱面積) が減少しており、事業所全体の蒸気使用量は減少しているが、原単位が改善出来ない状況が続いている。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	ボイラー用燃料の使用量削減	令和4年度 燃料使用量 C重油 2,098KL 令和5年度 燃料使用量 C重油 2,104KL 前年比 約0.3%増  令和4年度 配管加温蒸気量 8,756ton 令和5年度 配管加温蒸気量 6,711ton 前年比 約23.4%減	令和4年12月に原重油配管の加温管理を細分化して、令和5年1月より加温不要な配管への蒸気通気を中止した。 令和5年度の配管への蒸気通気量は、令和4年度と比較して2,045ton減少したが、令和5年度は原重油の入出荷数量が大幅に減少したことで、タンク貯蔵油を加温維持するための蒸気が1,956ton増加したため、ボイラー燃料の使用量は令和4年度とほぼ変わらなかった。
2			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	その他	年間20千kW 年間13tCO2削減	太陽光発電システム R5年度実績 23千kW
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。